

「土砂災害防止に関する作文」

神奈川県 厚木市立玉川中学校 1年 米山 晏代^{よねやま はるよ}

2014年8月20日のことをみなさん覚えていますか。そう、広島で起きた土砂災害です。あの日から、もう2年が経とうとしています。しかし、未だに避難所で暮らしている人々は絶えません。なぜ、こんなにも大きな被害を受けてしまったのでしょうか。

災害の気象要因は、秋雨前線に向かう暖湿流と不安定な大気を要因とする集中豪雨です。被災を最も受けた地域、安佐南区・安佐北区では、287.0ミリの最多雨量を観測しました。その為、阿武山の頂上付近や中腹から土石流がすごい勢いで広島を覆い尽くすように流れてきたのです。

この大きな被害で命を落とした人は77名、負傷者は44名。また、住居等の被害は、全て合わせて4,559棟にもものぼりました。

もう、二度と大きな被害に合わない為に、広島県で実施している事が3つあります。

1つ目は、大雨のときに広島市が今後の降雨予測などの気象情報を踏まえながら、土砂災害に備えた対応を行うことです。これは、厚木市や全国でも出している避難指示のことです。

2つ目は、土砂災害危険情報を提供することです。これは、土砂災害危険情報の内容を補足する地域の詳細な危険度を5キロメートルメッシュで提供し、住民が早めの避難を心掛けるようにする為のものです。

3つ目は、天気予報をこまめに見ておくことです。これは、避難指示が出る前からでもできます。大雨になったらすぐに確認し、避難などの対応ができるようにしておく為です。

このように、広島県では土砂災害について、たくさんの対策がとられていました。それでは、厚木市では、どのような対策をとられているのでしょうか。

厚木市のホームページには、土砂災害ハザードマップが掲載されています。その他、浸水のハザードマップには、避難情報の取得方法や、避難場所へ持っていくと便利な物がくわしく書かれました。これを参考に、自分の住んでいる地域と照らし合わせ、あらかじめ知っておくと、心の準備もできて安心ですね。

さらに、「今、私達にできることはあるのか」と考えてみた時、私は5つ思い浮かびました。

1つ目は、近所の人とすれ違う時には、あいさつをかわせば良いと思います。そうすれば、コミュニケーションをとることができるので、避難する時に声かけや協力、助け合いをよりしやすくなると思います。

2つ目は、防災グッズを用意することです。もしも、避難所に行った時に、何も無かったら困りますよね。なので、各自が必要な物、常備薬・メガネ・毛布など、食べ物だったら賞味期限が切れていない物をリュックサックに入れて、すぐに持ち出せる所へしまっておくと便利です。

3つ目は、家族とはぐれないように、避難場所や避難経路を確認し合うことです。これは、避難指示が発令された時に、違う場所に居たら、どこへ行くか困りますよね。なので、〇〇の避難場所と決まっていたら、どうやって行くのかを知っておくことが大切です。さらには、家族で「防災の日」を作って、ご飯を食べる時などに、避難場所や避難経路を確認しておく、いざとなった時に安心ですね。

4つ目は、ポストにペンなど書ける物とガムテープを入れておくことです。これは、直接避難場所に行く人ではなく、一度家に帰る人にオススメです。誰がどこに居るかを書いてはれば、後から来た人に伝えやすいので、すぐに移動できます。

5つ目は、寝ている時に災害があったらすぐに行動できないと思ったので、枕元に明日の着替えを用意しておくことです。更に、スリッパや常備薬、水など、最低限必要な物をセットしておく、いざという時助かると思います。日頃から用意すれば、慌てたりすることもなくなるので、習慣づけておくと良いでしょう。

これらのことから、土砂災害は事前に防ぐことができます。私は、この日本が更に災害に対応できるようにになったら良いと思います。みなさんは、家族でどのようなことを話し合っていますか。他にも良いアイデアがあると思います。情報をシェアして、災害で亡くなる人・ケガをする人・悲しむ人が一人でも減るように、みんなで協力して未然に防げるようにしたいです。

最後に、広島の被災者の方々には、一日も早い生活再建をお祈り申し上げます。